

日本全国で展開中
支援者ケア・ワークショップ

[第一回テーマ]

それでも私が 支援・ケアに 関わる理由

福祉や医療や心理や看護、
介護や教育・保育、支援やケア...
人と向き合い関わる方、
あるいはそれを想う方へ。

他の人へのケアも大事ですが、
「自分自身に対するケア」も最近
大事にできているでしょうか。
今一度自分を振り返ってみる、
そんなワークショップを栃木初開催。

3/23 [sun]
13:00~16:00

会場：栗林荘 小山市塚崎463-1 デイサービス土間にて
参加費：無料（次回参加者へケアを送る、任意のカンパ制）
定員：先着15名

詳細 & お申し込みはこちら
<https://helpwell-tochigi001.peatix.com/>





helpwell 栃木

helpwellは「支援者ケアを常識にする」ことを掲げ、医療・福祉・介護・教育等の対人支援者にケアが十分行き渡ること (helper wellness)でのバーンアウトの減少と、ひいては良き支援、適切な支援が増えること (well help) を目的とした任意団体です。支援者が豊かに安心して働けることによって、どんな命も等しく大切にされる、そんな社会を目指しています。その栃木支部として今回より活動開始。

栗林荘 (社会福祉法人丹緑会)

多世代交流拠点となることを目指して運営している、栃木県小山市にある特別養護老人ホームです。日本財団「みらいの福祉施設建築プロジェクト2021」の採択も受け、ハード面・ソフト面ともに地域に開く活動を広げていっています。2025年秋ごろにシェアキッチン・シェア本棚付カフェスペース、ベーカリー、スケボーパーク、赤ちゃんから遊べるプレイパークなどが完成予定。

場をひらくひとをご紹介



あむ(石川歩) / 小さな対話の場“あわいろ”

誰もが"自分を生きる、他者と生きる、自然と生きる、やさしい世界"を描きたい。中学時代にボランティアと出会い、以来福祉や教育など、ひとが生きることと向き合う営みに携わらせていただいています。自然の中での保育の仕事、子ども支援のNPO スタッフを経て、現在は"あわいろ"というちいさな対話の場の主催、任意団体 comarch 理事&スタッフ (多世代の居場所)。誰かをいたわるあなたも、大切にいたわられる存在。そんな世界を、文化を、この会から紡いでいけますように



みお(菅野美音)

1998年神奈川県生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科在学中に祖父母の在宅介護に関わったことをきっかけに、デザインと介護の両領域を横断するように。卒業後は栃木県小山市に移住し、特別養護老人ホーム栗林荘 (運営: 社会福祉法人丹緑会) で介護士兼広報として働いています。個人としてもリサーチャー・デザイナー等として活動中。2025年3月~カラペハリエ@公認オーガナイザー。

「支援者ケア」について

言葉というものはとっても難しい。「支援」という言葉を肯定的にあえて使っている方もいれば、一方的通行的なイメージから抵抗感がある方もいらっしゃると思います。私もふだんは「支援」という言葉を使わないのですが、この一連の企画においては、あえて「支援者ケア」「支援」という言葉を使います。

「支援者」という言葉を使うことで強調されることに、意識を向けて考えてみたい。「支援」に携わる方々の、相手を想うベクトル、優しさや愛に敬意をもちたい。そのうえで、「支援者」としての意識の中で、後回しにしてしまいがちなその人自身も、大切に扱われるべき存在であるということを想いたい。支援者-被支援者の境目なく、ひとりひとりみんなが大切にされる世界、誰もがお互いにケアしケアされ合う世界を描きたい。

そんな双方向性、共に生きることへの願いを「ケア」という広い言葉に込めて、そんな文脈の中で、「支援者ケア」という言葉を使わせていただいています。初の栃木での開催、ご参加お待ちしております！(石川)

